

# 平成30年度事業計画

## I 事業活動方針

平成30年3月23日に「国際園芸博覧会の横浜開催を求める決議」が横浜市会で満場一致でなされ、今秋以降の閣議決定に向け横浜の政界、経済界、市民が一丸となり誘致に向け政府に働きかけを行います。それに伴い当協会としては会場整備、周辺会場整備、植物調達等についての情報収集及び組織再編の検討を行います。

当協会は昭和43年に7社の発案により造園協力会が結成され、平成7年には社団法人となり今日に至ります。長年の懸案でありました「横浜市造園協会誌」（仮称）について国際園芸博覧会の開催を契機として編集に着手いたします。

女性の社会参加が進む中、会員各社においても女性職員が多く就業している現状を踏まえ、連携及び技術の向上を目指すと共に、更なる経営者の意識改革も目指し研修会等を開催いたします。

## II 事業計画

### i 【総務委員会関係】

#### 1 経営合理化や社会経済情勢等に関する講習会の開催

##### (1) 横浜市環境創造局事業概要等説明会の開催

環境創造局及び関係各局の次年度予算概要等について、説明会を開催します。

##### (2) 経営者研修会の開催

経営合理化及び経営改善や社会経済の動向等のリアルタイムな情報収集のため外部講師を招いて、講習会を実施します。

#### 2 花と緑の街づくりに関する普及啓発事業

潤いと安らぎのある市民生活の実現を目指す横浜の花と緑の街づくりのため緑化の普及啓発を目的として、次の事業を実施します。

##### (1) よこはま花と緑のスプリングフェア 2018 に協賛

「花壇展」に20区画（10㎡/区）を出展します。

場所 象の鼻パーク

期間 4月13日（金）～5月6日（日）～24日間～

##### (2) 2018 日本フラワー&ガーデンショウの花と緑の職業体験コーナーに協力

花と緑の職業体験「造園屋さん」コーナーでミニ箱庭作り等を体験し、子供たちに造園について理解していただく事を目的とします。

期間 4月20日（金）～22日（日）

会場 パシフィコ横浜ABホール

- (3) 第35回全国都市緑化やまぐちフェアの花壇出展に協力  
横浜市からの依頼により「自治体個別出展」に協力します。デザインは会員から募集し、最優秀の作品が採用されます。  
期間 9月14日(金)～11月4日(日)～52日間～  
会場 山口きらら博記念公園(山口県阿知須)  
面積 約30㎡

3 会員の事業活動の支援、円滑な協会運営や会員相互の親睦を図る等のため、次の事業を行います。

- (1) 県及び市主催の各種業務指導連絡会への参加  
各種制度の研修及び講習会に参加し、会員へその趣旨の徹底を図ります。
- (2) 中長期計画  
現状と対策について中長期計画を立案します。
- (3) 会員親睦会の開催
- ①新年賀詞交歓会
  - ②ハマの緑を育むつどい(総会懇親会)
  - ③合同委員会
  - ④経営者研修会

## ii 【技術委員会関係】

### 1 造園工事技術の向上に関する研修会及び講習会の開催

造園技術者の新しい時代に応じた技術及び知識の向上、また次世代を担う若手技術者の育成を図るため、次の事業を実施します。

#### (1) 研修会・講演会の開催(横浜市造園技術交流会事業)

横浜市環境創造局と当協会の技術者が技術的な情報交換、意見交換を行うことにより相互の技術向上を図ることを目的とした「横浜市造園技術交流会」として下記の研修会及び講習会を行います。

##### ①公園施設見学研修会

全国都市緑化フェア会場の跡地利用の成功例として、リピート来園者が多い「アンデルセン公園」(千葉県船橋市)及び建設業界が直面している熟練労働者不足・生産性向上・品質確保・安全性向上などに対応する情報化施工(ICT施工技術)の普及に対し、講義や体験を通し理解を深めるために「コマツIoTセンター東京」での見学研修会を行います。

##### ②造園技術伝承研修会

日本古来の作庭技術の実技研修として「自然石石張」をテーマに行います。

会場 横浜公園内彼我庭園

期間 5月16日(水)・17日(木)

(2) 免許・資格取得支援

高所作業における作業性と安全性の向上を目的として、急傾斜な法面での作業では必須であり、樹木の昇降が出来る「ロープ高所作業」の特別教育を行います。

(3) 造園CPD制度の活用

造園CPD制度に関する認定プログラムを積極的に提供します。

(4) 設計図書に関わる業務の適正化

横浜市発注の工事について、着工・施工・竣工時に発生する設計図書の作成業務に関し、会員にアンケート調査を行いその実情を把握し問題点については改善に向けた準備を行います。

**iii 【安全委員会関係】**

1 造園工事に関する労働安全管理等の指導

造園業の健全な発展に資する安全性の向上を目指して、次の事業を実施します。

(1) 労働安全衛生大会の実施

横浜南労働基準監督署・横浜市環境創造局・道路局の指導のもと会員を対象として全国労働安全衛生週間にちなみ安全意識の向上を目的として、以下のことを行います。

安全標語の表彰

協会員から募集した安全標語を選考し、表彰を行います。

安全宣言

最優秀標語者による安全宣言を行います。

講演

労働基準監督署長及び外部講師による講演を行います。

(2) 造園工事・委託の現場安全パトロールの実施

①工事安全パトロール

公共工事の安全性を高めるため、横浜市環境創造局と合同で行う横浜市造園技術交流会でのパトロールを実施します。結果については各工事場所特有の安全管理が存在するため協会員に発信します。

②委託安全パトロール

安全対策強化期間中に委託現場パトロールを実施します。委託作業は各会社に共通工種が多いため、指摘事項を協会員に発信し安全作業の確保につなげます。以上のパトロールについては点検表に基づき、作業現場の標識類・安全施設・交通対策・作業員の安全教育・資材器具の整理整頓・服装等幅広い範囲での指導を行います。

- (3) 工事現場の安全管理等の講習会の開催  
横浜市環境創造局と合同で行う横浜市造園技術交流会において、安全対策に関する講習会を行います。
- (4) 年末年始・年度末労働災害防止強調月間の周知  
建設業労働災害防止協会の実施要項に基づき、工事繁忙期の労働災害の防止、安全意識高揚及び安全活動の定着を図ることを目的として協会員にポスター等を配布します。
- (5) 事故防止の徹底  
事故防止のため事故の原因、未然に防ぐポイント及び再発防止の対応等を協会員に周知徹底します。
- (6) 工事安全祈願祭の開催  
労働災害は絶えず発生する危険があり、1年を安全に過ごすために、年始に会員一同安全に向き合うことで無事故、無災害を誓います。
- (7) 災害協定に基づく災害時の対応  
横浜市と締結している「横浜市内公園緑地等に係る災害時の応急処置等の協力に関する協定」に基づく地震・風水害・土砂災害その他による災害時における公園緑地等の緊急巡回及び緊急措置等について環境創造局維持課の指導の下に協力をします。

#### iv 【緑の諮問委員会関係】

- 1 行政機関及び関係団体の緑化活動に対する協力  
横浜の花と緑の街づくり実現のため行政機関及び関係団体の緑化活動に協力し、潤いと安らぎのある市民生活の実現を目的として、次の事業を実施します。
  - (1) 緑化活動に対する協力  
「横浜市中期4か年計画」、「横浜みどりアップ計画」等に基づき推進される諸施策及び関係団体の緑化活動に対し、必要に応じて協力を行います。
  - (2) 広報活動  
協会の活動状況をはじめ造園業界の最新情報を記載した広報誌「横造協だより」を年2回発行し、会員・関係行政機関に配布するとともに、ホームページ上でも公開します。
  - (3) 経営者懇談会の開催  
協会事業のより一層の充実を図るため経営者懇談会を開催し、広く会員の意見を求めます。

(4) 議会等に対する陳情要望等

公園及び緑化事業のより一層の推進を図るため、横浜市会や関係各局等と意見交換を行うとともに、陳情・要望を行います。

(5) 研修会の開催

女性職員等を対象とした研修会の開催を行います。

v 【国際園芸博覧会招致担当特別委員会】

(1) 「里山ガーデンフェスタ」の植物調達について、植物調達協議会をサポートし、協力支援を行います。

(2) 国際園芸博覧会の開催に向けて「里山ガーデンフェスタ」の実行委員会として緑化フェアの成果の継承及び発展に協力します。

(3) 国際園芸博覧会招致に向けた横浜市の活動に協力するとともに、情報収集を行います。

以上